

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンリーダー

2022 VOL.519

08



A-Policy [重点事業方針]

生産販売部 米穀課の取組み

畜産酪農部の取組み

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

A-Reports

- | | | | |
|-------------------------------------|----|------------------------------|----|
| ・会員会議開催 | 04 | ・グループ会社が定時株主総会・通常総会を開催 | 08 |
| ・令和4年度 長野県青果物・花き取引会議 | 05 | ・新採用職員紹介 | 09 |
| ・きのこ値上げを訴え、北信地区きのこ生産者代表が卸売市場へ | 06 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・下伊那子山羊市場 | 07 | ・今月のおすすめレシピ | 10 |
| ・大学キャンパス学食で長野県産レタスメニューをPR | 07 | ・8月のラジオ番組表 | 10 |
| ・北信JAきのこ安全安心研修会を開催 | 08 | ・編集後記 | 10 |



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

米穀課

生産販売部 米穀課の取組み

令和4年度重点取組事項

1. 4年産米生産・集荷推進

- (1) 関係機関と連携した需要に応じた生産への誘導
- (2) J A別集荷目標数量を設定し、J Aと一体となった集荷数量の積み上げ推進

2. 4年産米販売推進

- (1) 長野米販売計画に基づく生産誘導と実需者の見える取引の強化（長野米需要／72,000トン）



SDGs にもとづくフレコン比率向上およびスマートフードチェーンに向けた試験研究

- (2) 効果的な県本部買取販売の推進

- (3) 事前契約の積み上げと複数年契約の拡大（複数年契約目標／35,000トン）

- (4) 実需・卸との連携強化による新米推進・早期販売と販売経費抑制

- (5) 酒造好適米の計画生産と清酒の消費拡大推進

- (6) 産地一体となった「こだわり米」推進と（一社）日本穀物検定協会の食味ランキングでのコシヒカリ全地区「特A」獲得

- (7) 県内を主体とした「長野米」消費宣伝活動の実施

- (8) 重点卸と連携した長野米輸出の継続
- (9) フレコン比率の向上（目標／65％）と紙袋のパレット輸送の推進（目標／合計3,750枚）

3. 長野米生産・品質向上・安全安心への取り組み

- (1) 業務用適正米の生産に向けた多収栽培試験の実施、販売先と連携した検証

4. 生産基盤安定化への対応

- (1) 県本部米穀事業基盤強化奨励の有効活用（集荷・基盤強化・人材育成・施設衛生向上・種子場支援）
- (2) 長野県主要農作物種子生産ビジョンに基づく種子場再編計画の策定
- (3) 米穀施設のJ A間共同利用の試行的実施
- (4) 残留農薬・ヒ素・カドミウム・DNAの検査の継続

5. 農産物検査業務

- (1) J A検査員の技術向上指導・育成支援

6. 麦・大豆・そば

- (2) 国の動向を踏まえた今後のJ A長野県農産物検査協議会のあり方協議
- (1) 小麦／令和5年産に向けた品種構成



推奨販売可能な量販店での積極的な消費宣伝活動

- (1) の見直し、試験圃による省力化と品質・反収向上の技術確立（硬質系小麦の増産、ハナマンテン⇄ハナチカラ、シラネコムギ・ゆめきり⇄しるゆたか）

- (2) 大麦／需給に応じた生産と適期収穫の励行

- (3) 大豆／「ナカセンナリ」を主体とした集荷数量確保、需要に応じた品種構成の検討

- (4) そば／県内安定取引先への推進、収穫前を含む早期の契約締結

畜産酪農課

畜産酪農部の取組み



全農長野が運営する長野県中央家畜市場

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から2年が経過し、withコロナの「新たな生活様式」にも少しずつ慣れてきたというものの、ロシア・ウクライナ情勢の影響と合わせ、国民は未だに不自由で窮屈な生活を強いられています。特に、生活

必需品や電気料金、燃料等の値上げにより消費マインドは冷え込み、量販店などでは低価格帯商品への消費シフトが見え始めました。

一方、畜産酪農の生産現場では、穀物の高騰、海上運賃の増高、円安の進展等により飼料代金の値上げが続き、

農家経営を圧迫しています。さらに、ロシア・ウクライナ情勢の収束は先が見えず、世界的な穀物需給の混乱は今後も飼料価格を押し上げるのではと懸念されています。飼料基金への国の追加補填や県単位での飼料高騰対策などが打ち出されてきましたが、生産者の不安は増すばかりです。また、農場の防疫面では、豚熱が全国のワクチン接種地域でも散発しており、令和3年度も15件46農場約10万頭が殺処分されました。鳥インフルエンザでは、全国の25件31農場189万羽が処分されるなど、農場における飼養衛生管理基準

の徹底が一層求められました。

このような状況の中、令和4年度、畜産酪農部は、補完的な生産により数量確保を図りながら、信州産ブランドの販促強化等、有利販売の仕組みを維持強化し、生産性向上やコスト削減による農家所得の確保を目指して生産基盤の維持が図れるよう、以下に掲げる具体策をもって事業に取り組みます。

1. 生産基盤維持と販売数量の確保

- (1) 空舎利用による補完的生産事業の取組み
- (2) 受精卵移植頭数の拡大によるET和牛子牛確保と長野県中央家畜市場の活性化
- (3) 搾乳頭数の確保と乳質改善対策
- (4) 県本部奨励施策等による基盤の維持確保

2. 信州産ブランドの販売強化と生産性向上による農業所得の増大

- (1) 信州産ブランド畜産品の県内外での販売促進強化および信州プレミアム

牛肉の輸出拡大

- (2) 関係機関・関連会社と連携した乳質改善、ポジティブリスト全戸巡回の実施

- (3) 生産性向上巡回の継続実施や新たな生活様式に対応した販売促進

- (4) 副産物（ET和牛子牛）の生産と販売推進による副収入の確保

3. 県本部生産農場の機能充実と経営の安定

- (1) 三岳牧場／安定的な子牛供給、預託頭数の拡大、ET事業の推進
- (2) ハケ岳牧場／生産性向上による生乳出荷量の確保、搾乳頭数の安定化
- (3) SPF豚繁殖センター／繁殖成績向上による販売子豚頭数の確保

4. 地域畜産酪農営業センターの機能強化

- (1) 営農技術員の資質向上によるセンター機能強化
- (2) 最適な地域畜産酪農営業センター運営体制の協議

5. 県内食肉処理施設のあり方協議

- (1) 食肉処理施設の方角付け、及び食肉流通体制の整備

燃料・ホーム
エネルギー課

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

キャッシュレス決済(ENEOSカード、Enekey)推進による顧客固定化

SS事業を取り巻く環境は、低燃費車や電気自動車の普及により燃料油需要が減退するなど、厳しい状況にあります。長野県JA-SSでは燃料油供給量を確保するため『ENEOSカード』の発券・推進による顧客の固定化に取り組んでいます。現時点の会員数は約6万4千件と、これまでの継続的な発券取組みにより非常に多くのお客様にご利用いただいています。

ENEOSカードには「燃料油の値

引き」「ポイント還元」「無料ロードサービス付帯」など多くのメリットがあります。さらに、長野県JA-SSにてご入会いただいたENEOSカードで「JA-SS・配達灯油」「クミアイプロパン」「JAでんき」代を年間5万円以上お支払いいただいた方の中から抽選で1000名様に2000円分のQUOカードを進呈するオリジナル特典もご用意しています。

また、キャッシュレス化によるお客

ENEOSカードのご案内

入会するならJA-SSで決まり！
ご入会 & ご利用 どちらとも長野県JA-SSが **お得！**
ぜひ、持たたい1枚ですっ！

選べる 3つのENEOSカード

- ENEOS CARD C** ガソリン・軽油が最大7円/ℓ引き！！
毎日の暮らしで使ったガソリン代をお得に！車を運転することが多くてガソリン代をもっとお得にしたいお客様に。
- ENEOS CARD P** どのタイプも安心のロードサービス機能付き！！
- ENEOS CARD S** ガソリン・軽油はすべて2円/ℓ引き！！
年1回のカード利用で年会費無料！
お得に気軽にご利用いただけます。

最大3%ポイント還元！！
どんなポイントが貯まるイチ押しタイプ！
キャッシュバックやTポイントにて利用できます。

さらに・・・長野県JAオリジナル特典を **プラス！！**
ENEOSカードを1年間で
50,000円以上ご利用された方の中から
抽選で1,000名様に
QUOカード2,000円分を **プレゼント！**

※長野県JA-SSにてガソリン・軽油の給油に「JA-SS」のENEOSカード、クミアイプロパン、配達灯油、JAでんきのご利用が対象となります。
※対象期間は4月～翌年3月の1年間に限ります。
※抽選は自動で、QUOカードの発送は5月頃予定。ご本人会員様へ直接郵送いたします。
※賞状と抽選の結果はご本人会員様へ郵送いたします。

JA-SS NAGANO

様の利便性
向上の取
組みとし
令和元年
7月より「Enekey」(ENEOSカード等のクレジット情報登録すると、クレジットカードのQRコードを読み取りすることで決済が完了する「Enekey」の進化版決済ツールの利用や、SSより配信されるお得な情報の受信ができます。令和5年3月末までに、モバイルEnekeyをご登録いただいた方にBOX

で決済が完了するキーホルダー型の決済ツール」を展開してきましたが、令和4年7月よりスマートフォンで決済が可能な『ENEOS SSアプリ(サイバスステーションアプリ)』が新たに展開されています。こちらの機能は、「モバイルEnekey」(アプリにクレジットカード情報を登録すると、アプリのQRコードを読み取りすることで決済が完了する「Enekey」の進化版決済ツールの利用や、SSより配信されるお得な情報の受信ができます。令和5年3月末までに、モバイルEnekeyをご登録いただいた方にBOX

ストレスフリー給油しよう。

ENEOS SSアプリ

登録も簡単！
無料で今すぐダウンロード！

ENEOS SSアプリの特徴

POINT.1 スマホでQRコードを表示すればスピーディーにお支払い！ ※モバイルEnekeyをインストールしてご利用ください。	POINT.2 よく使う燃料や量を登録しておくと注文が楽々！ ※注文は注文履歴から確認いただけます。	POINT.3 モバイルEnekeyでクレジットカードを登録するとQRコードでのお支払いが便利！ ※クレジットカードは、お持ちのクレジットカードから登録いただけます。※クレジットカードによっては登録できない場合があります。
POINT.4 給油の値引きや優待がアプリ限定のお得なクーポンをゲット！	POINT.5 給油のポイントが貯まる！3つのポイントカードと連携可能！ ※同時に複数のポイントカードと連携することはできません。※登録しているクレジットカードにポイントが貯まる場合があります。	POINT.6 いつでもどこで給油したかがすぐ分かる！給油履歴もアプリでチェック！

会員登録&利用方法

STEP.1 アプリをダウンロード
STEP.2 モバイルEnekeyを設定 ※モバイルEnekeyを設定するには以下の手順でインストールしてください。
STEP.3 QRコードでお支払い

※Enekeyは、ENEOSカードと連携してご利用いただけます。Enekeyは、ENEOSカードと連携してご利用いただけます。

が可能な『ENEOS SSアプリ(サイバスステーションアプリ)』が新たに展開されています。こちらの機能は、「モバイルEnekey」(アプリにクレジットカード情報を登録すると、アプリのQRコードを読み取りすることで決済が完了する「Enekey」の進化版決済ツールの利用や、SSより配信されるお得な情報の受信ができます。令和5年3月末までに、モバイルEnekeyをご登録いただいた方にBOX

ティッシュ1箱を差し上げるキャンペーンを実施しておりますので、この機会にJA-SSへご来店ください。
燃料・ホームエネルギー課ではお客様に満足いただけるJA-SSを目指し、今後もキャッシュレス決済の取組みを一助として顧客固定化に引き続き取り組んで参ります。

会員会議開催

J A全農長野は6月29日(水)、J A長野中央会・各連合会通常総会との同日開催となる会員会議を長野市J Aビルアクティホールにて開催しました。

会員会議では「令和3年度事業報告」を行い、質問・意見無く原案どおり承認されました。また、本年度改選となる県本部運営委員会委員の選任投票の結果、全員の賛成で原案どおり選任されました。

■運営委員選任結果

新たに3名の方が選任され、15名の運営委員は別表のとおりとなりました。

長野県本部運営委員会 委員名簿(敬称略)

職務	氏名	所属JA・役職	備考
会長	神農 佳人	JAグリーン長野	会長
副会長	千國 茂	JAあづみ	代表理事組合長
委員	津金 一成	JA長野ハケ岳	代表理事組合長 (新任)
委員	浅沼 博	JA佐久浅間	代表理事組合長
委員	眞島 実	JA信州うえだ	代表理事組合長
委員	小松 八郎	JA信州諏訪	代表理事組合長
委員	西村 篤	JA上伊那	代表理事組合長 (新任)
委員	寺沢 寿男	JAみなみ信州	代表理事組合長
委員	田屋 万芳	JA木曽	代表理事組合長
委員	田中 均	JA松本ハイランド	代表理事組合長
委員	北沢 泉	JA洗馬	代表理事組合長
委員	武井 宏文	JA大北	代表理事組合長
委員	栗林 和洋	JAグリーン長野	代表理事組合長 (新任)
委員	望月 隆	JA中野市	代表理事組合長
委員	宮澤 清志	JAながの	代表理事組合長

■令和3年度の事業概況

令和3年度は、前年度に続くコロナ禍の長期化により、新たな生活様式が深化した1年となりました。また、春先の県内全域での凍霜害、長雨、降雪など気象災害による甚大な被害が発生しました。

こうした中、全農長野は中期事業計画(令和元年～3年度)の最終年度として、①積極的な生産振興に基づく農業生産基盤の維持強化 ②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化 ③経済事業拠点の合理化・効率的な運営整備を基本目標に、農家組合員の営農とくらしへの貢献とJ A経済事業の確立に努めました。

生産振興事業では、ピーマンの実証圃を設置による試験実施、自然災害に対応したハイブリッドトレスモデル圃の設置(県下4カ所)、リンゴ高密植わい化栽培の普及など園芸産地づくりを推進しました。生産販売事業では、コロナ禍の影響により米穀周年供給・需要拡大支援事業、白菜とレタス類の国の緊急需給調整事業への対応をすす

めると同時に、県オリジナル品種「ウド・クイーンルージュ」の販促や機能性表示食品などの付加価値を高めた商品提案に取り組みました。生産購買事業では、肥料原料の国際市況の上昇や円安等の影響に対し、早期引取や要領活用による価格抑制に努めるとともに、共同購入トラクター推進など生産資材コストの低減に努めました。畜産酪農事業は、信州プレミアム牛肉の対米輸出の開始など、関係会社と連携し県産畜産物の有利販売に取り組みました。新型コロナウイルスの影響による生乳余剰の課題については、医療機関や消費者への理解醸成活動により生乳の廃棄処分を回避しました。また、今後の食肉処理施設のあり方については、J Aグループ食肉処理施設検討プロジェクトを立ち上げ検討協議をすすめました。生活購買事業は、農業生産用燃料に対する支援対策を実施したほか、「J Aでんき」の取り扱いを拡大、新たにオンラインショッピング「らくJ A」をお届け便を開設しました。

県本部独自のJ A特別奨励2億円をはじめ、J A事業基盤強化対策への奨励等、総額9.9億円の還元を実施しました。

以上の結果、令和3年度供給販売高については、燃料の単価高による増加はあったものの、コロナ禍での米穀・きのこの販売低迷、極端な気象変動による野菜の出荷量・相場の不安定な推移を受け、2,500億円(計画比95%)、税引前当期利益については、継続的な事業管理費の削減(計画比94%)と事業運営の効率化に努め、37,000千万円(計画比116%)となりました。

※表紙上の写真＝開会挨拶をする伊藤茂中央会・各連合会会長



事業報告をする髙田武司県本部部長

令和4年度 長野県青果物・花き取引会議

J A全農長野生産販売部は6月2日(木)、長野市内で長野県青果物・花き取引会議を開催しました。県内外の青果・花きの主要卸売会社13社の代表、長野県から阿部守一知事、小林安男農政部長ほか農政部関係者、全農長野の伊藤茂運営委員会会長、嵩田武司県本部長、県内J A組合長など、57名が出席しました。



主催者挨拶をする伊藤会長

この会議は、長野県産農産物・花きブランドの販売強化による農家手取りの向上及び卸売会社との強いパートナーシップを構築するため、例年出荷が本格化するこの時期に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症

の拡大にともない、過去2回はWEBによる開催であったため、今回は3年振りの実開催となりました。

伊藤会長は主催者挨拶の中で「コスト上昇を反映した農産物の価格形成を達するため、主要卸売会社の皆様とともに、実需者や消費者の理解醸成を得る活動をして参りたい。こうしたなかで、J A全農長野は本年度生産販売部の取扱目標を1,586億円とした。この目標達成のため、強い系統結集による恒久的な産地づくりを図り、販売力の強化に取り組む」と述べました。

阿部知事は「安全安心で高品質な作物の供給に全力を尽くして参りたい。生産コストの高騰対策として、県として6月の県議会で予算化し、農家に対する支援をしっかりとしていきたい。卸売会社の皆様には優れた食のある長野県を記憶にとどめていただき、とりわけ、今年ブランドデビューをむかえるブドウ新品種クイーンルージュは、皆様に育ててもらえるとありがたい」と協力

を求めました。

長野県農政部からは長野県農政の展開方向について、本会からは今年度の取扱計画や生産販売の重点方針の説明後、卸売会社の代表3社より、それぞれのテーマに沿った提言がありました。

東京青果(株)川田一光社長からは「卸売市場法改正後の流通動向からみた産地対応」について、「各エリア・各社取引の自由度が上がった。商物分離により遠距離の取引も可能になり、この傾向は加速する。生産コスト増を末端価格に反映しづらいのは、需給バランスだけで価格形成していたからであり、今後はシーズン全体を見通して取引を組み立てていくことが大事である。」と提言がありました。

(株)R&Cながの青果倉崎浩社長からは「マーケットインによる産地振興」について、「この2年間でいろいろな変化が一気にすすみ、新たなライフスタイルにより、特にネット販売の取扱は増加した。これまでの常識にとらわれずに、顧客のニーズを創造していく」「競争から協調へ」「売買から取引組んでいくことが重要となる」と提言されました。



会議の進行をする嵩田県本部長



来賓挨拶をする阿部知事

(株)なにわ花いちば奥田芳彦社長からは「withコロナ時代の消費拡大対策と産地対応」について、「コロナ禍のなかで特に感じたことは、いかにまつりごとが重要であり、この対応をしっかりとこなしていく必要があるということ。また、種を植えるところから明確に産地とすめ方を共有し、早い段階で売り先を決めること大事」と提言がありました。

今回の会議は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して開催し、新たな会議の形を示すことができました。今後も、withコロナ時代を想定したなかで、できる開催内容の検討を重ねて参りたいと考えます。

きのこ値上げを訴え、 北信地区きのこ生産者代表が卸売市場へ

北信地区JA、生産者代表、JA全農長野が構成する北信園芸事業推進協議会は、6月30日(木)から7月4日(月)に東京、大阪、名古屋の主要卸売市場を訪問し、きのこの値上げを依頼しました。培地資材を含めたきのこ生産資材、電気、燃油、流通経費等の急激なコスト上昇の中、安定的かつ持続的なきのこ生産・供給につながるため実需者への理解と協力を求めました。

同協議会の安藤猛会長は「きのこは北信地域の歴史ある重要な産業であり、青果物総合供給基地として守っていかなければならない品目です。鍋料理などに欠かせない食材であり、栄養成分や機能性も認知されており生産・出荷を続けなければなりません。販売価格転嫁による再生産価格の達成が先送りになればきのこの安定供給は崩壊し、きのこの食文化の消失につながるものが危惧されます。いつでも冷蔵庫に、そして様々な料理に使えるきのこ、市場や消費者の皆様にも求められるきのこ

の供給維持に向けて、生産コスト上昇分の販売価格転嫁の必要性について、JAグループ一丸となつて情報発信したい」と理解を求めました。卸売会社からは「きのこだけでなく生鮮野菜を含めた農産物の生産コスト上昇分の価格転嫁は簡単ではないが、今までもJA、全農長野販売事務所と一体となつて情報発信と営業に取り組んできました。卸売会社は国内産地維持と消費者へ青果物を届けるという市場の役割を達成するために、今後も関係者一丸となつて課題解決と啓蒙に取り組んでいく」と申し合わせました。

北信地区のきのこは、県下系統供給の73%を占める大型供給基地です（令和3年度全農長野販売実績より）。この数年の安値により小規模生産者の廃業が相次ぐ中、大・中規模生産者の基盤維持を進め、市場への安定供給を達成してきましたが、急激な生産コストの上昇により、今年の秋から冬の需要期の生産が見通せない状況となつてい

ます。きのこは小売りの現場では価格の優等生として1パック98円が浸透する一方で、市場での販売価格は再生産価格を下回ることが常態化し、さらに市場販売価格と小売価格との乖離は拡大傾向にあるといえます。

また、きのこは原価率が高く、農業所得率は主力品目であるえのきたけ、ぶなしめじで10%を割り込みます。これまでコスト抑制策に取り組んできましたが、市場での販売価格低下と急激なコスト上昇が経営赤字に拍車をかける状況となっています。

昨年来、資材コスト上昇分について市場販売価格と小売価格への転嫁を求めてきましたが「青果物は需給バランスによる相場で価格が決まる」として販売価格転嫁は未達となつています。食料の安定供給に取り組んできた産地に対する理解が得られておらず残念です。

生産・供給が可能な品目として相対取引比率の高い品目となっていることから、価格決定は需給バランスだけでなく市場における売買参加者である仲卸、小売店仕入れ担当者に委ねられていると言つても過言ではありません。食料品の値上げが相次ぎ消費の冷え込みが危惧される中、国内きのこ産業は先の見えない円安、生産資材購入不安、コスト上昇など、赤字を引きずりながら生産にあたる体力は既に残されています。国内農産物は安定生産、安定供給を目的に、JAグループが一体となつて生産振興と販売・流通対策に取り組んできましたが、生産資材および肥料価格の高騰は、国産農産物の大きな生産不安につながり、ひいては国民の食の不安につながります。消費者、小売店、卸売市場、仲卸の理解なくしてこの問題解決は達成できません。全農長野はこれからの日本の食と農業を守るためにも関係機関・団体と連携を強化し理解の推進に臨みます。

*えのきたけ22・4円（2・7円安）、ぶなしめじ40・0円（5・3円安）、なめこ40・2円（2円安）（令和3年度東京中央卸売市場実績、いずれも100g換算）

下伊那子山羊市場

年に一度の共進会とセリ

J Aみなみ信州畜産協議会、J Aみなみ信州、J A全農長野は7月7日(木)、飯田市の三尋石集畜場で「第73回下伊那子山羊市場」を開催しました。

共進会では飯田下伊那地域の生産者が、この春に産まれた日本ザーネン種の子山羊27頭を出品しました。畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員が審査員となり、体格や乳房、生殖器の形質などを審査し、長野県知事賞に阿南町の伊豆より夏さんの雄子山羊が選ばれました。



子山羊の審査

表彰式後に行われたセリ(写真Ⅱ表紙右下)には、

東は千葉県から西は大分県まで19名の購買者が参加し、1頭ずつ競り落とされました。雌29頭の平均価格は62,929円で最高価格は124,000円、雄5頭の平均価格は44,800円で最高価格は59,000円でした。全体の平均価格は60,182円となり昨年より19,518円減となりましたが、昨年より出品頭数も10頭ほど多く、活気あるセリとなりました。

飯田下伊那の山羊は、一頭一頭が血統管理され、品種登録されています。今回で73回を迎えた伝統ある「下伊那子山羊市場」は、登記書付子山羊のみを扱う全国で唯一の競り市で、子山羊が離乳する7月に毎年開催しています。

第73回下伊那子山羊共進会 入賞者名簿(敬称略)

	特別優秀賞	優秀賞	優良賞
雌の部	林 富士夫(泰阜村)	福田 渉(高森町)	菅谷 紀明(下条村)
雄の部	伊豆より夏(阿南町) ※長野県知事賞	玉川 翔(阿南町)	

大学キャンパス 学食で

長野県産レタスメニューをPR

広島大学など中四国21大学で実施

J A全農長野大阪販売事務所は、広島県広島市(株)の帳合により、夏場のレタス消費拡大・新たな需要喚起の一環として、中四国の大学の学生食堂でレタスを使ったメニューを提供しました。大学生活協同組合中国・四国事業連合に加盟している9県21大学で6月13日(月)から7月15日(金)まで実施し、メニューは、アジアンフェアの一つとして「ナシゴレンカルビ」と「豚肉冷しゃぶサラダごまドレッシング」の2メニューを提供。専用POPを作成し、大学生に長野県産レタスをPRしました。

レタスを使ったナシゴレンカルビが良く売れ「売り切れになる日もあります。コロナ前はサラダバーも設置し人気がありました」と話していました。食堂内は感染対策のため白いボードで一人ずつ仕切られ黙食が推奨されているため、賑やかさはありませんでしたが、多くの学生が利用していました。

今回の取り組みにより、期間中に1週間あたり500〜800箱のレタスが使用され新たな需要を作り出すことができました。この結果を関係者と協議しながら、引き続き長野県産青果物を利用したメニューや素材そのものをPRし、消費拡大および関心・認知度を高める取り組みを進めて参ります。

今回のメニューが提供された大学(21校)

島根県	島根大学生協
鳥取県	鳥取大学生協
岡山県	岡山大学生協、就実生活協同組合
広島県	広島大学生協、広島修道大学生協、福山市立大学生協
山口県	下関市立大学生協、山口大学生協、梅光学院大学生協、水産大学校生協、山口県立大学生協
徳島県	徳島大学生協
香川県	香川大学生協、四国学院生協
愛媛県	松山大学生協、愛媛大学生協、東山東雲大学生協
高知県	高知大学生協、高知工科大学生協、高知県立大学生協



北信事業所生産販売課



デモ機を使った操作説明

ＪＡ長野県営農指導者会議
きのこ専門部北信ブロックと
北信園芸事業推進協議会（事
務局／ＪＡ全農長野北信事業
所生産販売課）は７月８日（金）、
長野市のグリーンホールミナ
ミで北信ＪＡきのこ安全安心
研修会を開催しました。北信
地区ＪＡのきのこ技術員を中

北信ＪＡきのこ安全安心
研修会を開催

心に30名が出席しました。

研修会では、(株)イシダの田
中博喜氏、岩野圭副所長を講
師に迎え、金属検出機を適切
に扱うための検出原理・原則、
また金属検出機を最大限発揮
させるポイントについて説明
を受けました。出席者からは
「テストピースを用いた金属
検出機動作確認の推奨頻度
は？」「実際の金属を金属検
出機に通しても反応しない時
があるがどうすれば良いの
か？」など多くの質問が出さ
れ活発な意見交換があり、異
物混入防止に対する関心の高
さがうかがえました。

コロナの感染対策を徹底し
た上での実地研修は、活気あ
る有意義な会となりました。

改革推進・企画課

グループ会社が
定時株主総会・通常総会を開催

ＪＡ全農長野のグループ会社ならびに（一） 令和4年度の常勤取締役・監査役は次のとお
社）長野県農村工業研究所の定時株主総会・ ります。

会社・法人名	役職	氏名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長 使用人兼務取締役・DX推進室長 代表取締役社長	佐藤 利久 小林 健彦 小林 寛久
株式会社ＪＡアグリエール長野	専務取締役（企画管理、事業統括（肥料・物流）） 常務取締役（物流事業担当） 使用人兼務取締役・肥料事業部長 代表取締役社長	松田 正隆 金井 久雄 青柳 元彦 小川 郁男
株式会社マイバール長野	代表取締役社長 使用人兼務取締役・営業部長	岡村 修 内田 信一
長野県農協直販株式会社	専務取締役（コンプライアンス・品質保証室、企画管理部、生産部統括） 専務取締役（食品部・鶏卵部・宅配部統括） 常務取締役（食肉部統括） 使用人兼務取締役・企画管理部長 使用人兼務取締役・鶏卵部長 使用人兼務取締役・食品部長 監査役	藤澤 喜久雄 平林 務 内田 信一 岡村 修 小川 郁男 青柳 元彦 金井 久雄 松田 正隆 小林 寛久 小林 健彦 佐藤 利久
株式会社 長野エコーサプライ	代表取締役社長 専務取締役（事業全般） 常務取締役（セレモニ事業本部長） 使用人兼務取締役（管理・物流担当、管理部長） 代表取締役社長	工藤 政文 丸山 泰史 太田 義夫 山崎 邦雄 池田 伸一 東方 一政 依田 秀樹 丸川 通裕 滝本 勝成 町島 茂利 塩原 勇二 片桐 雅樹
株式会社ジェイエイオート長野	専務取締役（社内統括担当） 常務取締役（企画開発担当） 代表取締役社長	
株式会社長野県食肉公社	代表取締役社長 専務取締役	
信州ミルクランド株式会社	取締役・工場長 取締役・品質保証部長 常務理事	
一般社団法人長野県農村工業研究所	常務理事	

新採用職員紹介

令和4年度の新採用職員を順次ご紹介します

生産購買部 農業機械課  北澤 将 きたざわ しょう



トラクターに乗ってみました！

はじめまして！生産購買部農業機械課の北澤将と申します。出身は松川村です。小さい頃から松川村でとれたリンゴをはじめとするたくさんの農産物を食べて育ってきました。

趣味は、野球観戦やYouTubeを見ることです。

農業機械についての知識は乏しいですが、生産者の方のコスト低減等に貢献できるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。

畜産酪農部 畜産酪農課  西澤 奈歩 にしざわ なほ



たくさん食べて、現場仕事も頑張ります！

はじめまして、畜産酪農課の西澤奈歩と申します。出身は長野市です。大学で食品について学び、農業サークルに所属していたことで食に関わる仕事がしたいと思うようになり、入会いたしました。

趣味は、サックスです。今は家で吹くことがほとんどですが、今後は吹奏楽団に所属し演奏したいと思っています。

まだまだ未熟ではありますが、1日でも早くJAや農家の方の力になれるよう精進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

生活部 燃料・ホームエネルギー課  久保田 智美 くぼ たともみ



エネゴリ君と一緒に頑張ります！

はじめまして。生活部燃料・ホームエネルギー課の久保田智美と申します。出身は高山村で、実家がりんごとぶどう農家を営んでおります。幼い頃から農業に親しみがあり、自然豊かな地で農畜産物をたくさん食べて育ちました。

趣味はダンスを見たり踊ったりすることで、高校と大学では、チアリーディングをやっていました。他にもドラマや映画鑑賞、ドライブ、散歩などいろいろあります。

燃料については一からの知識習得になりますが、先輩方からたくさん学び、早く皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況▶

令和4年度6月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	—	—
野菜種苗センター		65	87	82
生産振興部計		82	110	104
米	穀	3,021	85	52
果実花き		2,020	118	106
野菜きのこ		12,931	92	95
営 業		1,997	93	92
生産販売部計		19,970	93	85
包装資材		1,419	93	103
生産資材		3,656	122	119
農業機械		1,833	104	92
施設住宅		1,960	110	127
生産購買部計		8,868	110	111
畜産酪農		7,615	100	98
三岳牧場		71	119	120
SPF繁殖センター		76	99	98
ハケ岳牧場		56	88	95
畜産酪農部計		7,817	100	98
燃料・ホームエネルギー		6,249	104	106
S S 協同経営		1,898	110	114
生 活		2,251	102	96
生 活 部 計		10,398	104	105
長野県本部計		47,135	100	95

(内部販売高含む)

8月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
8/24(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせぶりてい内 「暮らしの応援団」	果実花き課

今月のおすすめレシピ

長野県産野菜
採れたて出荷キャンペーン
第2弾レシピ

ズッキーニの カルパッチョ



■材料(2人分)

- ・ズッキーニ 1本
- ・生ハム 50g
- ・パルメザンチーズ 適量
- ①オリーブオイル 大さじ1
- ①レモン汁 小さじ1
- ①塩 ひとつまみ
- ①黒胡椒 少々

■作り方

- ①ズッキーニは薄くスライスする。
- ②①はオイルが乳化するまでしっかりと混ぜ合わせる。
- ③皿にズッキーニを並べ、生ハムを真ん中に盛り付けたら、①をまわしかけ、パルメザンチーズをふる。

ワンポイント アドバイス

生ハムの代わりに、しらすやツナなどでも
美味しくいただけますよ。

グリーンレーダーの ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

梅雨入りしたなと思いきや、あっという間に梅雨が明けてしまった。東北北部以外の地方で6月中旬に梅雨が明けるのは史上最速とのことである。梅雨が短いということは、雨も少なく、水不足など農作物に与える影響は大きい。さらには海水温の上昇による台風発生、大気不安定な状態による雷雨、雹も非常に心配である。

さて、どうして梅雨明けが史上最速となってしまったのか。簡単に言うと、いつもの年より太平洋高気圧が早く日本に来てしまったことが原因で、詳しく調べるとラニーニャと偏西風が大きく影響しているようだ。ラニーニャ現象によって太平洋高気圧が押し上げられて、日本列島に張り出し、そこに偏西風が年より北側を蛇行したため、太平洋高気圧が北側に張り出し、梅雨前線を早く押し上げる原因となった。

いずれにしても今年も暑い夏が始まってしまった。様々な工夫をしながら快適な夏にしたいが、気掛かりなことも出てきた。新型コロナウイルス感染者の急拡大である。いつになればトンネルを抜けられるのか不安ではあるが、踏ん張りどころと心得、気を緩めることなく前に進んでいきたい。

(一)

ご
つ
つ
あ
ん
で
す

信州の農畜産物



JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>



グリーンリーダー8月号 (毎月発行) 2022年7月20日発行 第519号
発行/JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/高田武司 印刷/PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3